新 潟 医 療 福 祉 カ レ ッ ジ

令和５年度　事業報告書

１．基本方針

（１）学校運営方針

専門学校の社会的役割を再認識し、地域社会から求められる学校・学生づくりを目指す。
学生も教職員も、学校に行くことが楽しいと言える学校づくりを行う。

（２）教育面

教育方針および指導方針、各科学習方針に基づき、専門教育の質の向上と豊かな人間性を育成する。
資格、検定の合格とともに、社会で活躍できる力を養うという視点で人材教育を行う。

（３）財政面

常に消費収支の適正な均衡を保ち、財政の健全化を図る。支出面においては、全職員が経費削減を意識し、日常における無駄を排除する。

（４）事業面

既存学科および既存事業の健全運営に努めるとともに、社会ニーズに合わせた事業展開をおこなう。

２．主な事業報告

（１）教育活動等

新型コロナウイルスが５類に移行したことを受けて、対面授業はもちろん、個別支援を対面でおこなうことができるようになった結果、各種資格・検定試験で好成績を残すことができた。
行事も、年間スケジュール通りに行い、宿泊を伴う修学旅行や飲食ありのイベントを４年ぶりに実施することができた。

① 主な教育実績

資格・検定名	学内合格率	全国合格率
介護福祉士国家試験（日本人）	１００．０％	９３．１％
介護福祉士国家試験（留学生）	３５．３％	３７．６％
社会福祉士国家試験	１００．０％	５８．１％
診療報酬請求事務能力認定試験	９０．５％	４８．４％

② 授業運営、学習指導・支援

・学生の能動的な学びを引き出し、知識の定着を図るため、グループワークや調べ学習、発表機会の創出など、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業が多く行われた。
・学習支援アプリやオンラインツールの活用により、効率的な授業運営と、学生にとっては時間を有効に使った学びにもつながった。
・習得状況が思わしくない学生に対しては、個別又は小グループで補講を行い、学習支援に努めた。
・福祉施設や医療関連企業の協力を得て、実習や地域での活動、学生と企業が連携した授業展開を実施することができ、実践的な学びの機会を提供することができた。
・オンライン通信科を立ち上げ、多様な学びを提供する場を創出できた。

③ 就職支援、キャリア教育

・丁寧に相談に応じながら、面接指導を中心に個々の希望に沿った就職支援を行い、最終的な就職希望者に対しては９年続けて 100％の就職率を達成することができた。また、多くの福祉施設や病医院、企業の協力を得ながらキャリア教育にも努めた。

④ 生活指導、その他

・個別の事案に対して丁寧に対応することで、休退学者を少なく抑えることができた。
・学生の希望から、こども食堂の設立・運営をサポートした。

（２）学生募集活動

・学校Ｗｅｂサイトやパンフレット、ＳＮＳ等により、学科の強みや特色ある学びを広く発信することで、学校や分野の魅力発信に努めた。オープンキャンパスでは在校生にも活躍してもらい、参加者が、よりリアルな話を聞くことで、具体的な学校生活をイメージしてもらえるよう取り組んだ。

（３）社会人教育事業

・介護福祉士実務者研修を中心に、新入介護職員向けの新人研修も積極的におこなった。